

大阪北共同溝が全線貫通しました！

工 事 名：大阪北共同溝枚方交野地区工事
全線貫通日：平成24年1月14日（土）
最終貫通場所：交野市青山地先（到達立坑）

浪速国道事務所では、平成22年3月に開通した第二京阪道路（枚方東IC～門真JCT）の地下に、災害に強く安定したライフライン（電話、電気、ガスなど）を収容する幹線共同溝の整備を進めています。

この度、全線に渡り進めていたトンネル掘削の内、最後に残った枚方シールドマシンによる掘削（枚方市津田南地先～交野市青山地先）を終え、京都南共同溝から大阪北共同溝の全てのトンネルがつながりました。

○大阪北共同溝枚方交野地区工事は、枚方市津田南町から交野市星田北に至る延長4,809mの幹線共同溝で、第二京阪道路の地下（深さ7～23m）をシールド工法によりトンネルを施工する工事です。本工事を含む大阪北共同溝の整備により、現在供用中の京都南共同溝と一体の幹線共同溝となり、基幹となるライフラインの安全性、信頼性の向上及び掘り返し工事防止による渋滞緩和など道路機能の保全に貢献するものです。

○本工事は、平成22年10月から交野シールドマシン（直径3,700mm）及び枚方シールドマシン（直径4,750mm）による掘削を進め、交野シールドマシンに続き平成23年11月23日に枚方シールドマシンによる掘削が完了しました。平成24年1月14日のシールドマシン解体撤去完了により、無事京都南共同溝～大阪北共同溝間の全線が貫通に至りました。

○今後、引き続きトンネル内設備の設置工事などを進め、平成26年度までの完成を目指してまいります。

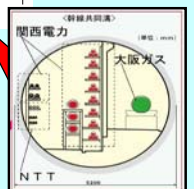
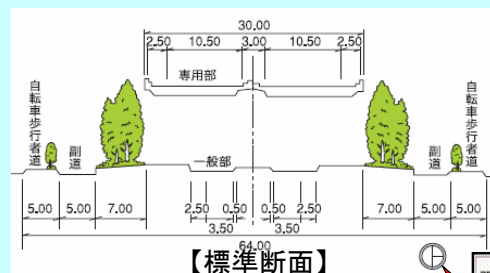
大阪北共同溝の概要



大阪北共同溝は、第二京阪道路の地下に電話、電気、ガスなどのライフラインを収納する幹線共同溝です。

幹線共同溝を整備することにより、道路の掘り返し工事の防止、工事渋滞の軽減、地震など災害に強い都市づくり、ライフラインの安全性の向上などを図ります。

シールドマシンによるトンネル掘削の完了後は、電話、電気、ガスなどを配管するための通路及び、配管するための架設金物などの整備を行っていきます。



掘削が完了した枚方シールドマシン
面板の状況

面板を解体



到達立坑よりシールドトンネル
（京都方面）を望む

